

## ゴムの成形加工におけるデータ活用について

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 成形加工技術研究分科会

協賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、  
(予定) 日本材料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、  
日本分析化学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会 (順不同)

今回のシンポジウムでは、ゴムの成形加工におけるデータ活用を取り上げ、機械学習やロボット、データ基盤の運用、加工最適化といった最新事例を解説致します。製造現場のデジタル変革が加速する中、製造現場のデータ活用やデジタル化、加工条件へのAI適用など、各工程におけるスマート化の具体策を共有することで、生産性の向上や品質管理の高度化を目指す方に有益な内容となっております。ゴム成形加工のデジタルトランスフォーメーションに取り組むすべての方のご参加をお待ちしております。この分野の第一線でご活躍されている方々に最新技術と課題をご説明いただきます。

日時：2026年6月24日(水) 10:00~16:30

場所：対面(東部ビル5階会議室)とオンライン(Zoomウェビナー)によるハイブリッド開催

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 無料

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます。

シニア制度対象会員 12,100円(60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込要領：弊会ホームページ(<https://www.srij.or.jp/>)よりお申込みください。

参加者には6月17日(水)以降に当日のご参加用URLを事務局よりお知らせいたします。

テキスト：電子媒体にて配付いたします(開催前に閲覧用PWをお知らせいたします)。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

送金方法：開催前日までに、銀行振込にてご納入ください(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847)

一般社団法人日本ゴム協会)。誠に恐れ入りますが、振込み手数料は貴方でご負担ください。また、一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03 (3401) 2957 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

	演 題	講 師
10:00-10:10	開会のあいさつ	成形加工技術研究分科会主査 近藤 寛朗
10:15-11:15	「材料解析クラウドサービス WAVEBASE」 物性測定や化学分析データの解析基盤としてのWAVEBASEの特徴と活用方法を紹介	トヨタ自動車(株) 青柳 裕一 氏
11:15-12:15	「製造・研究現場のデータ活用を支えるIoT共通基盤」 製造拠点および研究施設で蓄積される多様なデータを有効活用するために、IoT共通基盤がどのように寄与するかをご紹介します。	日本ゼオン(株) デジタル統括推進部門 デジタルシステム管理部 インフラグループ 小林 弘明 氏
	休憩	
13:05-14:05	「「匠の技」を次世代へ繋ぐ！製造業におけるデータ活用の実践事例のご紹介」	日本電気(株) 山本 康高 氏 横浜ゴム(株) 多田 拓太郎 氏
	「現場でAIをどう動かすか」の業務実装を支援している立場から、製造現場、特にゴム・素材産業における「匠の技(秘伝のたれ)」の属人化という長年の課題に対して、近年のAI技術(生成AI・AIエージェント)の革新により、この課題解決の「実現性」が劇的に高まっていることを、データ活用の潮流と、それを支えるdotDataの役割をご共有する。	
14:05-15:05	「機械学習とロボットを駆使して研究を展開する時代」	東京大学 教授 一杉 太郎 氏
15:20-16:20	パネルディスカッション	
16:20-16:30	弊会のあいさつ	成形加工技術研究分科会副主査 佐藤 有二

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。